

海のにぎわい創出プロジェクト 休憩・交流施設及びトイレ建築
基本・実施設計プロポーザル審査結果報告書

袋井市は、浅羽体育センター地内に建設を予定している休憩・交流施設及びトイレの基本・実施設計業務受託者選定にあたり、海のにぎわい創出プロジェクト 休憩・交流施設及びトイレ建築基本・実施設計プロポーザル選定委員会を設置し、公募型プロポーザル方式により技術提案書の提出を求め、審査を行った。

その結果、次のとおり審査の結果を報告すると共に、最優秀者を設計候補者として推薦する。

令和5年8月25日

海のにぎわい創出プロジェクト 休憩・交流施設及びトイレ建築
基本・実施設計プロポーザル選定委員会

委員長 大河原 幸夫

1 審査結果

最優秀者（設計候補者） 企業組合 針谷建築事務所（静岡市駿河区）
次点者 株式会社 アート総合設計（袋井市旭町）

2 審査結果の概要

(1) 第1次審査

8者からプロポーザルの提案があり、うち6者を第2次審査の参加要請者として選定

(2) 第2次審査

審査結果		最優秀者						次点者
審査項目・評価事項	配点	A	C	D	F	H	J	
事務所及び担当チームの能力 （事務所・担当者の業務実績等）	135	128	92	125	132	96	116	
業務の実施方針 （業務の実施方針の妥当性）	45	22	33	31	38	27	38	
設計の基本方針 （「海のにぎわい創出ビジョン」に基づいた提案を評価）	90	54	80	58	70	52	76	

設計の具体的方針 (デザイン・利便性・コスト低減 などの具体的提案に対する評価)	900	578	769	536	626	492	642
担当者の能力、取組意欲 (質問への回答、誠実さ、熱意に に対する評価)	90	49	73	53	68	53	71
合計	1,260	831	1,047	803	934	720	943

3 審査経緯

(1) 選定委員会の審査経過

ア 第1回選定委員会（令和5年5月31日）

公募型プロポーザルの応募要項、審査評価基準等の審議を行った。

イ 第2回選定委員会（令和5年7月28日）

8者からプロポーザルの提出があり、審査評価基準に基づき、各委員が事前の書面審査を実施した。その後選定委員会にて事前審査を集計した結果を踏まえて各委員が意見を述べ、第2次審査の参加要請者として、6者を選定した。

なお、応募要領では第2次審査の参加要請者は5者程度としていたが、集計の結果、5位と6位の提案者の得点が僅差であったことから、6者に対し参加要請を行った。

ウ 第3回選定委員会（令和5年8月25日）

第2次審査として、提案者から20分間のプレゼンテーション及び、10分間のヒアリングを実施した。

ヒアリング後、提出されたプロポーザルの内容及びヒアリングの結果による総合評価により審議を行い、業務実績、技術者の経験、技術提案等の各項目について総合的に審査した結果、得点が最も高かった企業組合針谷建築事務所を最優秀者、2番目に得点が高かった株式会社アート総合設計を次点者と決定した。

なお、第1次審査、第2次審査ともに参加者名は全て匿名にて審査を行った。

(2) 選定委員会委員名簿

委員長	大河原 幸夫	袋井市 副市長
委員	寒竹 伸一	静岡文化芸術大学 副学長
委員	栗田 裕子	J P S Aプロサーファー マリンスポーツ愛好者
委員	江川 元二	浅羽体育センター スポーツ施設利用者
委員	山本 訓道	自転車関連有識者
委員	小杉 幸一	地元代表 元浅羽南自治会連合会長
委員	村田 雅俊	袋井市 企画部長
委員	藤田 佳三	袋井市 産業部長
委員	石田 和也	袋井市 都市建設部長
委員	大庭 英男	袋井市 市民生活部長